

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																		
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		中村 英詞		〒 144-8655 (住所) 東京都大田区西蒲田5-23-22 (電話) 03-3732-1111																		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																		
学校法人片柳学園		昭和25年3月1日		千葉 茂		〒 144-8655 (住所) 東京都大田区西蒲田5-23-22 (電話) 03-6424-1111																		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度															
文化・教養	芸術専門課程		ダンスパフォーマンス科		平成20(2008)年度		-		令和 2(2020)年度															
学科の目的	ダンス業界において最も必要とされている偏りのない基礎をマスターしたマルチダンサーの育成及び社会人としての基礎力を持った人材の育成を目的とする。																							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	中途退学者 11名(2.89%)																							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技															
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,755 単位時間	615 単位時間	単位時間	1,980 単位時間	単位時間	単位時間															
				単位	単位	単位	単位	単位	単位															
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																			
160 人	226 人		0 人		0 %																			
就職等の状況	■卒業者数(C) : 106 人																							
	■就職希望者数(D) : 105 人																							
	■就職者数(E) : 95 人																							
	■地元就職者数(F) 24 人																							
	■就職率(E/D) 90 %																							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)																							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) 23 %																							
	■進学者数 90 %																							
	■その他 1 人																							
	10人 (令和 6 年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)																							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																							
	※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL																							
当該学科のホームページURL	http://www.neec.ac.jp/department/design/graphics/																							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)																							
	<table><tr><td>総授業時数</td><td>2,445 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>1,845 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,775 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>1,845 単位時間</td></tr></table>											総授業時数	2,445 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1,845 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	1,775 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)
総授業時数	2,445 単位時間																							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1,845 単位時間																							
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																							
うち必修授業時数	1,775 単位時間																							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																							
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																							
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	1,845 単位時間																							
	(B: 単位数による算定)																							
	<table><tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr></table>											総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)
総授業時数	単位																							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																							
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																							
うち必修授業時数	単位																							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																							
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																							
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																							
教員の属性(専任教員について記入)	<table><tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>2 人</td></tr><tr><td>③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>計</td><td>4 人</td></tr></table>											① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1 人	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	4 人	
	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人																						
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																						
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																						
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1 人																						
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																						
	計	4 人																						
<table><tr><td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td><td>2 人</td></tr></table>											上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	2 人												
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	2 人																							

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
ダンス分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またダンス分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。
また、教育課程編成委員会の意見は科内会議で審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
出澤茂雄	株式会社 expg family	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日(1年)	①
保屋松靖人	エイベックス・ヘルスケアエンパワー合同会社	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日(1年)	①
前山善憲	(社)ストリートダンス協会	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日(1年)	②
櫻井翔	株式会社 アノマリー	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日(1年)	①
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	—
井口 雅仁	日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	—
野中 志乃	日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ ダンスパフォーマンス科 主任	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	—
			—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

2025年7月、2026年3月

(開催日時(実績))

2024年7月

2025年3月

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

現行のカリキュラムで問題はないが、デビュー系実績の向上を考えた場合は講師選定が重要。長年次化を検討する場合は、現場で即戦力となるようなカリキュラムを考える必要がある。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

校内でのダンスレッスンを主軸にしつつ、イベント出演、MV出演、TV出演などプロとしてのキャリア形成を積極的に行う

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

大田区中学生ダンス部部活支援活動、プロスポーツハーフタイムショー出演、プロアーティストコンサートバックダンサー出演や制作業務への協力など多数

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
HIPHOP1・2	HIPHOPの基礎的なステップ、振付を現役プロダンサーから学ぶ	ネクストジャパン株式会社
JAZZ1・2	JAZZの基礎、振付を現役プロダンサーから学ぶ	ネクストジャパン株式会社
プロダンサーワークショップ1・2	プロダンサーに必要な技術をオールジャンル、ワークショップ形式で学ぶ	テレビ朝日映像株式会社
インストラクター専攻	HIPHOP・JAZZの指導技術・レッスン構築方法を現役プロダンサーから学ぶ	大田区教員委員会
コレオグラファー専攻	様々なシーンに対応する振付制作技術を現役プロダンサーから学ぶ	NHKメディア技術局

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

- ・多様化する学生(通信制高校卒業生・留学生)への理解を深め、教員の対応力・理解力を向上する。また学生本人が持つ人間力の向上の一助となる指導力を身につける
- ・業界で求められる最新の「ダンス技術」「社会人性」を理解し、学生指導に還元する

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	TikTokの活用によるダンサーのプロモーション	連携企業等:	ラクガキ企画株式会社
期間:	2024年9月19日(木)	対象:	学生・教員
内容	Tik Tok基礎講座(活用方法、バズリの法則)、Tik TokLIVE活用方法		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	留学生への対応及び指導力向上	連携企業等:	東京工科大学附属日本語学校
期間:	2024年7月24日(水)	対象:	教員
内容	異文化理解・就労できる在留資格について		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ダンサーが関わる制作業務について	連携企業等:	未定
期間:	2025年10月頃を予定	対象:	学生・教員
内容	裏方としてダンスの仕事内容の知見を広める		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	教員研修	連携企業等:	未定
期間:	2025年8月29日(金)	対象:	教員
内容	通信制高校の現状/ハラスメント講習 予定		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学修成果としての進路実績数の向上について委員より以下のご意見を頂いた

・プレイヤーとしては年齢が若い方が良い場合もあるが、制作やインストラクターは年齢は関係ない

・技術はもちろんだが社会人性を身に付けており、即戦力となる人材育成ができるとより良い

以上の意見を踏まえ、当科では以下の事を活用していく

・座学授業、インターンの振り返りを活用し技術面以外の知識を増やし社会人として必要な人間力・思考力を高めていく

・外部企業との連携機会(オーディション、インターンなど)を増やし、実践現場での経験を増やす事と経験から学びを深める(他学生にも知見を広める)振り返りを持っていく

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	IT企業等委員/卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	地域関連/会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道局長	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
小澤 賢侍	CG・ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進部長・プロジェクトマネージャー	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ/デザイン企業等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	学校関連

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.neec.ac.jp/public/>

公表時期: 令和7年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.neec.ac.jp/public/>

公表時期: 令和7年9月30日

授業科目等の概要

(芸術専門課程 ダンスパフォーマンス科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			キャリアプランニング 1	自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
2	○			キャリアプランニング 2	自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	1・後	15	1	○			○		○		
3			○	スポーツ実習 1	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ全体で行います。	1・前	30	2			○	○		○		
4			○	ボランティア 1	社会貢献、地域貢献といった体験を通して、自身も社会に関わる喜びを得ていきます。	1・通	30	2			○	○		○		
5	○			外国語 1	ダンサーとして世界で活躍できるよう外国語を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
6	○			外国語 2	ダンサーとして世界で活躍できるよう外国語を学びます。	1・後	15	1	○			○		○		
7			○	キャリアゼミ 1	ダンス業界で成功しているプロダンサー、OBOG をゲストに招きこの 2 年間で何が必要なのかを学びます。	1・通	30	2	○			○		○		
8	○			資格対策講座 1	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	1・前	15	1	○			○		○		
9	○			資格対策講座 2	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	1・後	15	1	○			○		○		
10			○	特別講義 1	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・前	15	1	○			○			○	
11			○	特別講義 2	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・後	15	1	○			○			○	
12			○	イベント実習 1	学科主催の定期公演を企画制作し、出演することでイベント制作から出演者として必要なスキルを身に着けます。	2・通	30	1			○		○			○
13			○	ライブステージ鑑賞 1	プロアーティストの生演奏や講演などを聴き、アーティストおよび周辺も含めたプロの技術を学びます。	1・後	15	1	○			○		○		

14			○	海外研修	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体験します。（研修先・行程は毎年異なります。）	1・後	30	1			○		○	○		
15			○	インターンシップ1	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	1・後	30	1			○		○		○	
16	○			ベーシックスキル1	社会人になるにあたって必要な知識、ダンス業界で必要な知識、音楽知識などを学びます。	1・前	15	1	○			○			○	○
17	○			ベーシックスキル2	社会人になるにあたって必要な知識、ダンス業界で必要な知識、音楽知識などを学びます。	1・後	15	1	○			○			○	○
18	○			HIP HOP1	筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・前	30	1			○	○			○	○
19	○			HIP HOP2	筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・前	30	1			○	○			○	○
20	○			HIP HOP3	筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・後	30	1			○	○			○	○
21	○			HIP HOP4	筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して HIP HOP の持つグルーブを学びます。	1・後	30	1			○	○			○	○
22	○			HOUSE1	ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解してジャンル特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。	1・前	30	1			○	○			○	○
23	○			HOUSE2	ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解してジャンル特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
24	○			JAZZ1	ダンスの主流分野で最もニーズのあるフュージョン・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・前	30	1			○	○			○	○
25	○			JAZZ2	ダンスの主流分野で最もニーズのあるフュージョン・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・前	30	1			○	○			○	○
26	○			JAZZ3	ダンスの主流分野で最もニーズのあるフュージョン・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・後	30	1			○	○			○	○
27	○			JAZZ4	ダンスの主流分野で最もニーズのあるフュージョン・ダンスのレッスンです。クラブ、テクニカル、ジャズヒップホップ、ファンクなど全ての分野に対応し、即戦力を育成します。	1・後	30	1			○	○			○	○
28	○			OLD SCHOOL1	OLD SCHOOL を代表するジャンルであるブレイクダンス、ロックダンス、ポップの基本ステップや体の動きをレッスンを通して修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○

29	○		OLD SCHOOL 2	OLD SCHOOL を代表するジャンルであるブレイクダンス、ロックダンス、ポップの基本ステップや体の動きをレッスンを通して修得します。	1・後	30	1			○	○			○	○
30	○		CONTEMPORARY 1	び、基本的な体のエクササイズ、ストレッチ法を修得します。一つ一つの踊りを解体し理解する事で自己の動きに対する深い意識を育て、創造性や感覚を磨きます。	1・前	30	1			○	○				○
31	○		CONTEMPORARY 2	び、基本的な体のエクササイズ、ストレッチ法を修得します。一つ一つの踊りを解体し理解する事で自己の動きに対する深い意識を育て、創造性や感覚を磨きます。	1・後	30	1			○	○				○
32		○	専攻ダンススキル 1	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
33		○	専攻ダンススキル 2	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
34		○	専攻ダンススキル 3	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
35		○	専攻ダンススキル 4	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	1・後	30	1			○	○			○	○
36		○	選択ダンススキル 1	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
37		○	選択ダンススキル 2	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
38		○	選択ダンススキル 3	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
39		○	選択ダンススキル 4	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	1			○	○			○	○
40		○	選択ダンススキル 5	R&B HIP HOP や GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	1・前	30	2			○	○			○	○
41	○		BALLET 1	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	1・前	30	1			○	○				○

42	○		BALLET 2	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	1・後	30	1			○	○				○
43	○		プロフェッショナルダンス 1	HIP HOP、HOUSE、コンテンポラリー、JAZZ、バレエのプロダンサーになるために実技系レッスンをを行います。修了公演の内容も含まれます。	1・後	120	4			○	○				○
44	○		ビジネストレーニング 1	PC 操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	1・前	15	1	○			○		○		
45	○		ビジネストレーニング 2	PC 操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	1・後	15	1	○			○		○		
46	○		キャリアプランニング 3	入学後から卒業後までの自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
47	○		キャリアプランニング 4	入学後から卒業後までの自分の人生のキャリアについて、すべてに共通するスキルを学びます。	2・後	15	1	○			○			○	
48		○	スポーツ実習 2	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ全体で行います。	2・前	30	1			○	○		○		
49		○	ボランティア 2	社会貢献、地域貢献といった体験を通して、自身も社会に関わる喜びを得ていきます。	2・前	30	2	○				○	○		
50		○	カレッジプロジェクト	カレッジ全体で計画したプロジェクトや自主コンサート、ボランティア活動などを実行します。	2・後	30	1			○	○		○		○
51		○	キャリアゼミ 2	ダンス業界で成功しているプロダンサーやダンスに係わる企業などを招きガイダンスや模擬レッスンをを行います。	2・前	15	1	○			○		○		
52		○	キャリアゼミ 3	ダンス業界で成功しているプロダンサーやダンスに係わる企業などを招きガイダンスや模擬レッスンをを行います。	2・後	15	1	○			○		○		
53		○	資格対策講座 3	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	2・前	15	1	○			○			○	
54		○	資格対策講座 4	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	2・後	15	1	○			○			○	
55		○	特別講義 3	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・前	15	1	○			○			○	
56		○	特別講義 4	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・後	15	1	○			○			○	

57			○	イベント実習 2	学科主催の定期公演を企画制作し、出演することでイベント制作から出演者として必要なスキルを身に着けます。	2・通	30	1			○	○					○
58			○	ライブステージ鑑賞 2	プロアーティストの生演奏や講演などを聴き、アーティストおよび周辺も含めたプロの技術を学びます。	2・後	15	1	○			○		○			○
59	○			H I P H O P 5	H I P H O P における力強い振付を踊りこなし筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して H I P H O P の持つグループを学びます。	2・前	30	1			○	○				○	○
60	○			H I P H O P 6	H I P H O P における力強い振付を踊りこなし筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して H I P H O P の持つグループを学びます。	2・前	30	1			○	○				○	○
61	○			H I P H O P 7	H I P H O P における力強い振付を踊りこなし筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して H I P H O P の持つグループを学びます。	2・後	30	1			○	○				○	○
62	○			H I P H O P 8	H I P H O P における力強い振付を踊りこなし筋力と体幹を身に付け、身体の可動域を広げ表現力を向上させます。ステップや振付を通して H I P H O P の持つグループを学びます。	2・後	30	1			○	○				○	○
63	○			H O U S E 3	ハウスのステップやコンビネーションを理解してジャンル特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。	2・後	30	1			○	○				○	○
64	○			H O U S E 4	ハウスのステップやコンビネーションを理解してジャンル特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。	2・後	30	1			○	○				○	○
65	○			J A Z Z 5	ダンスの主流分野であるジャズ・ダンスに必要な柔軟性や基礎技術を身に付けた上で、それぞれの個性を磨き表現者としての土台を作っていきます。多様な作品の中でしっかりと技術と表現のバリエーションを身に着けます。	2・前	30	1			○	○				○	○
66	○			J A Z Z 6	ダンスの主流分野であるジャズ・ダンスに必要な柔軟性や基礎技術を身に付けた上で、それぞれの個性を磨き表現者としての土台を作っていきます。多様な作品の中でしっかりと技術と表現のバリエーションを身に着けます。	2・後	30	1			○	○				○	○
67	○			C O N T E M P O R A R Y 3	最も芸術的で前衛演劇的な要素の強い振付を行うコンテンポラリーには、最高レベルの身体表現テクニックが必要です。	2・前	30	1			○	○				○	○
68	○			C O N T E M P O R A R Y 4	最も芸術的で前衛演劇的な要素の強い振付を行うコンテンポラリーには、最高レベルの身体表現テクニックが必要です。	2・後	30	1			○	○				○	○
69			○	専攻ダンススキル 5	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	2・前	30	1			○	○				○	○
70			○	専攻ダンススキル 6	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	2・前	30	1			○	○				○	○
71			○	専攻ダンススキル 7	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	2・前	30	1			○	○				○	○

72			○	専攻ダンススキル 8	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	2・前	30	1			○	○			○	○
73			○	専攻ダンススキル 9	コレオグラファーやインストラクター等、自身の将来のダンサーとしての職業に関わる専門スキルをレッスン・講義を通じて学んでいきます。	2・後	30	1			○	○			○	○
74			○	選択ダンススキル 6	R&B HIP HOPや GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	2・前	30	1			○	○			○	○
75			○	選択ダンススキル 7	R&B HIP HOPや GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	2・前	30	1			○	○			○	○
76			○	選択ダンススキル 8	R&B HIP HOPや GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	2・前	30	1			○	○			○	○
77			○	選択ダンススキル 9	R&B HIP HOPや GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	2・前	30	1			○	○			○	○
78			○	選択ダンススキル 10	R&B HIP HOPや GIRLS HIP HOP、ロックダンスなど、様々なダンス・スタイルの中から自分のスタイルに合ったレッスンを選択して基礎から応用までを修得します。	2・前	30	1			○	○			○	○
79	○			BALLET 3	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	2・前	30	1			○	○			○	○
80	○			BALLET 4	バレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、文化芸術を学びます。ストレッチや基礎となるポジション、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置き、その上でテクニック、コントロールを学びます。	2・後	30	1			○	○			○	○
81	○			プロダンサーワークショップ 1	バックダンサー、プロダンサーとして活躍するため、今現在必要とされている様々なジャンルについて学びます。またバックダンサーとして必要なダンススキル以外のステージスキルも学びます。	2・前	30	1			○	○			○	○
82	○			プロダンサーワークショップ 2	バックダンサー、プロダンサーとして活躍するため、今現在必要とされている様々なジャンルについて学びます。またバックダンサーとして必要なダンススキル以外のステージスキルも学びます。	2・後	30	1			○	○			○	○
83	○			プロフェッショナルダンス 2	HIP HOP、HOUSE、コンテンポラリー、JAZZ、バレエの表現を磨くために実演形式のレッスンを行います。卒業公演の内容も含まれます。	2・後	120	4			○	○			○	○
84	○			ビジネストレーニング 3	PC 操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	2・前	15	1			○	○		○		

85	○		ビジネストレーニング4	PC 操作など実社会において必要なスキルを身に着けます。	2・後	15	1			○	○		○		
86			○ デビュープランニング	デビューに向けて必要な知識を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
87	○		ミュージックジョブ1	音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識を幅広く学習します。	2・前	15	1	○			○		○		
88	○		ミュージックジョブ2	音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識を幅広く学習します。	2・前	15	1	○			○		○		
89			○ マルチメジャー	ミュージックカレッジ内の他学科のスキルを学びます。	2・前	15	1	○			○		○		
合計				89 科目			2445 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 卒業時に必修科目1380時間(54単位) および選択科目375時間(12単位) 以上取得し、合計1755時間(66単位) 以上取得すること。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 1年次は必修750時間、選択科目165時間以上履修すること 2年次は必修630時間、選択科目210時間以上履修すること		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。